

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 議事次第

令和6年6月26日(水)
午後1時30分～
於：第7委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「地域の絆と交流を通じた活力ある地域づくりについて」

3 委員間討議

「今後の調査・研究テーマについて」

4 閉会中の継続審査及び調査

5 今後の委員会運営

○ 管外調査

日 程：令和6年8月27日(火)～28日(水)

6 そ の 他

7 閉 会

地域の絆と交流を通じた活力ある 地域づくりに関する施策について

令和6年6月

魅力ある地域づくりに関する特別委員会

きょうと地域連携交付金

総務部
自治振興課

○趣旨、事業内容

市町村の行財政・振興対策・地方交付税・地方債に関するもののほか、選挙管理委員会に関する事務を所掌し、市町村の業務を支援・サポートすることで、市町村事業を通じて「地域の絆と交流を通じた活力ある地域づくりに関する施策」の推進に取り組んでいる。

特に、「きょうと地域連携交付金」において、府と市町村、市町村相互の連携を強め、一体となった地域づくりを推進していくため、府の施策と相乗効果を発揮し、地域課題の解決に取り組む市町村事業を支援している。

○これまでの実績

「きょうと地域連携交付金」

本交付金の実績のうち「活力ある地域づくりに関する施策」に関連すると考えられるものとして、以下のような事業が市町村において実施されている。

- ・定住促進のためのフォーラム、相談会の開催（京田辺市）
- ・スポーツフェスティバルの実施（亀岡市）
- ・多文化交流施設でのイベント開催（舞鶴市） など

▶R6予算額（参考）：「きょうと地域連携交付金」（19億円）

「移住するなら京都」プロジェクト 総合政策環境部 地域政策室

○趣旨、事業内容

移住促進条例に基づき、多様なニーズを有する移住検討者に対して、移住・定住に至るまでの各段階に応じた支援策を提供し、移住施策と連携した地域活性化を推進する。

※「移住するなら京都」については、総合政策環境部、農林水産部をはじめ全庁で推進

1 移住者の住まいの確保支援（空家バンク制度運営）

- ・ 空き家の取得又は賃借に係る居住するための改修支援
- ・ 空き家所有者による空き家の売却又は賃貸に必要な家財撤去支援

2 移住検討者に対する情報発信

- ・ 京都府移住情報サイト「今日と明日」運営
- ・ 「観光」×「関係人口」×「移住」をテーマに京都府の魅力を発信する「ALL KYOTO FES」開催
- ・ 先輩移住者によるセミナーなど首都圏における移住検討者向けイベント開催

3 移住定住へのフォローアップ

- ・ 市町村の「移住者受入・活躍応援計画」に基づく交流促進等の取組支援
- ・ 地域のキーパーソンと都市部企業・大学との交流創出

4 移住者の仕事の確保支援

- ・ 農山漁村地域における移住者による起業支援
- ・ 地域企業へのインターンシップ体験の提供



○これまでの実績

年度	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5
移住者数	288	326	552	658	604	559	676	594	616
累計区域指定数		11市町 49地区	14市町村 69地区	15市町村 80地区	15市町村 99地区	16市町村 103地区	16市町村 103地区	16市町村 114地区	16市町村 118地区

▶R6予算額（参考）：「移住するなら京都」推進事業費（337,955千円）

海・森・お茶の京都DMOによる観光地域づくり

総合政策環境部
地域政策室

〇趣旨、事業内容、これまでの実績

1. 着地型旅行商品の造成・販売及び、人の流れづくり

- ・ アクティビティ等体験プランの商品化
- ・ ファムツアー実施
- ・ クルーズ客向け商品造成



刀鍛冶工房見学、体験

2. インバウンドプロモーション及び、ビジネスチャンス創出

- ・ 海外商談会への出展
- ・ 地元受入体制整備



海外商談会にブース出展

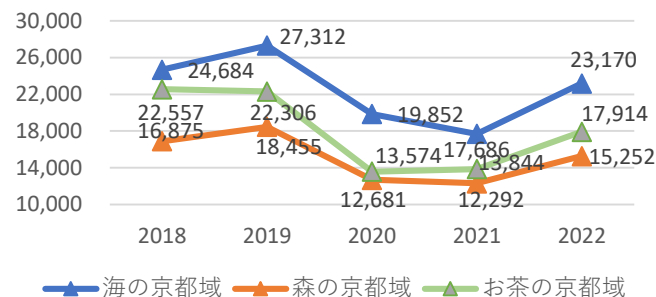
3. 観光地域づくりを担う人材育成

- ・ 観光ガイド、農泊人材の育成
- ・ 観光地域づくりマネージャー、観光地域づくりパートナーの育成

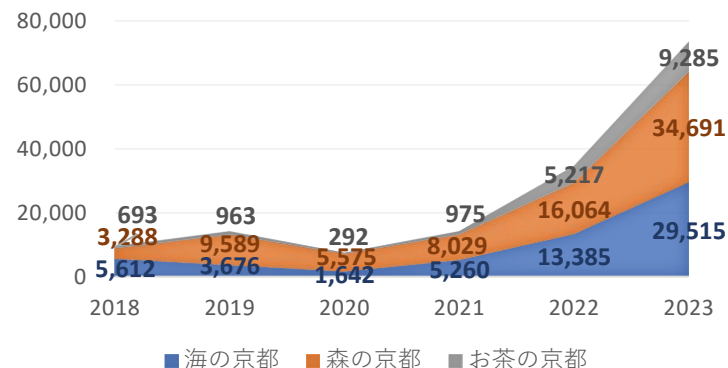


インバウンドガイドの育成

観光消費額の推移（単位：百万円）



DMO収益事業収入額の推移（単位：千円）



DMOの収益より、**地域にお金が回る仕掛け**を重視して事業展開

▶ R6予算額（参考）「海の京都」・「森の京都」・「お茶の京都」DMO推進事業費 202,581千円

学生とともにのぼす京都プロジェクト共同事業

総合政策環境部
大学政策課

○趣旨、事業内容

- ①大学、行政の連携により「大学・学生のまち京都」の魅力の充実・強化を図るため、学生、教員、研究者の知と力を活かし、京都府が大学・短期大学や学生と協働して府政課題の解決に取り組むプロジェクトについて、京都府と大学等との共同事業として実施し、事業実施に必要な経費を補助する。

募集期間：令和6年3月25日（月）～令和6年4月26日（金）まで

府政分野：子育て【重点分野】、商店街、観光(交流)、防災・防犯、
過疎地域・農山漁村、環境、地域振興(丹後、中丹、南丹、山城)

- ②大学の枠を超えて、意欲のある学生を募り、学生チームを編成して地域等の課題に取り組む事業を実施する。

府政課題（予定）：子育て、万博機運醸成

○これまでの実績

- ① 交付決定：23大学等、52事業（申請件数52件）

参加見込学生数：6,220人（延べ数）

- ② 実施事業：2事業

参加見込学生数：未定

▶R6予算額（参考）大学の知を活かした京都魅力向上事業費（20,000千円）

京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業

文化生活部
スポーツ振興課

○ 趣旨

子どもたちがスポーツを通じて夢や希望を持てるよう、府内プロスポーツチームと連携したスポーツ体験教室や、様々な競技のトップアスリートとの交流等を促進することで、スポーツのすそ野拡大となる取組を展開

○ 事業内容

サンガスタジアム by KYOCERAにおいて、トップアスリート等を招聘し、子どもたちが様々な競技種目を体験できる交流会を実施

○ これまでの実績

・ R5年度「京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業2023『京都キッズスポーツフェスタ』」

実施日：令和5年9月30日

場所：サンガスタジアム by KYOCERA

参加人数：約2,800人

フライングディスク



3X3バスケット



ダブルダッチ



サッカー



ラグビー



● 種目

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1)サッカー | 京都サンガ F.C. |
| (2)バスケット | 京都ハナリーズ |
| (3)卓球 | 京都ガヤリス |
| (4)3X3バスケット | KYOTOBB.EXE |
| (5)スポーツクライミング | (一社)京都府山岳連盟 |
| (6)ダブルダッチ | NEWTRAD |
| (7)アレクダンス | BODY CARNIVAL |
| (8)ポッチャ | (一社)京都障害者スポーツ振興会 |
| (9)フライングディスク | (一社)京都障害者スポーツ振興会 |
| (10)陸上(ジャベリックスロー) | 村上幸史
山崎晃裕 |
| (11)陸上(50m測定会) | 吉田匡貴 |
| (12)ラグビー | 夕ファ統悦 |

▶R6予算額(参考)京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業費(10,000千円)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる あんしん社会の構築に向けた取組

健康福祉部
地域福祉推進課

○趣旨、事業内容

地域における介護予防や生活支援の促進

高齢者が地域の担い手として活躍できる人材育成や住民主体による取組の充実に向けた支援など、市町村が行う介護予防・生活支援事業等の取組を推進

○これまでの実績

【シニアボランティア活動支援】

高齢者が地域の担い手として活躍できるよう ボランティア養成と活動とのマッチングを実施

< R 5 年度実績 スキルアップ講座受講者：3 2 1 名 ボランティア活動者：4 2 3 名 >

* R 6 年 4 月 「シニアボランティアバンク」設置

【地域課題解決型市町村支援】

高齢者の生活支援サービス拡充のため、ボランティア、地域の支え合い活動を充実するなどの 市町村の取組を支援

< R 5 年度実績 専門家チームによる支援：4 市町 >

▶ R6 予算額（参考）京都市域包括ケアセカンドステージ事業費（2,348,463 千円）

新しい商店街づくり総合支援事業

商工労働観光部
中小企業総合支援課

○趣旨、事業内容

商店街の多機能化、多様な人材の集積及びネットワークの拡大を進めることで、商店街が地域コミュニティの核となり、地域と一体的に発展していくことを支援（令和3年度より実施）

（1）地域課題解決コミュニティ活性化事業

商店街等が、自ら又は多様な主体等と連携して、地域課題を解決するための取組を支援
令和6年度に「子育て応援タイプ（個店の備品整備への補助:上限200千円）」を新設

	単独型	連携型	まちづくり一体型
対 象	商店街等が自ら地域課題を解決するために取り組む事業 子育て応援タイプ 商店街等が地域の子育て支援の拠点となる機能を整備する事業	商店街を核として、多様な主体が連携して地域課題を解決するために取り組む事業	商店街等がまちづくりと一体となって地域課題解決のために取り組む中核施設等の事業
補 助 率	2/3	2/3	2/3
補助上限	2,000千円 (子育て応援タイプ 2,500千円)	5,000千円	30,000千円

（2）商店街に関わる人材育成交流促進事業

- ・商店街の将来ビジョンづくりに向けて商店街の魅力を再認識するための研究会やデジタル化を促進させるための講習会など、商店街の課題解決のために必要な取組を支援
- ・商店街に関わる人材の交流を促進させ、多様な人材によるネットワークを強化するため、商店街創生フォーラムやネットワークサロンなどを開催

○趣旨、事業内容

「食の京都」をキーワードに地域のいちおし食材等を活用した地域の魅力向上・消費地での認知度向上を図り、地域の魅力の大きな要素の一つである「食」を通じて、周遊観光を促進し、交流を創出

○これまでの実績

- ・生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上
インフルエンサーを活用して、地元料理や食材、観光スポットを紹介する動画を制作しWebで配信
- ・Instagramキャンペーンの実施
「もうひとつの京都」エリアの食の魅力発信を目的にInstagramキャンペーンを実施
- ・ファクトブックの作成・配布
「もうひとつの京都」の自然の豊かさや地域に根付く文化の魅力を食のスポットとともに紹介するファクトブックを作成
- ・メディアツアーの開催
メディアを招待し、府域の「食」の魅力を実際に体験
- ・公益社団法人京都府観光連盟運営WEBサイト「食らし旅」での情報発信 等

農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業

農林水産部
農村振興課

○趣旨

中山間地域では、高齢化や人口減少等に伴い、地域共同活動の負担増加や生活インフラの質の低下などが顕在化してきており、今後もコミュニティを維持するためには、複数の集落が連携した地域運営体制づくりが必要。

○事業内容

農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して、農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、調査、実証事業等の取組を実施。

京都府は、中間支援組織とともに、各地区の将来ビジョンの策定や、地域での話し合いの仕組みづくりなどを伴走支援。

○これまでの実績

農村型地域運営組織形成推進事業

令和4年度採択 2地区、令和5年度採択 1地区、令和6年度採択 2地区

▶ R6予算額(参考) 京のむらづくり推進事業費(168,000千円)うち

農村型地域組織形成推進事業(84,000千円)

地域農業経営基盤強化促進計画推進事業

農林水産部

経営支援・担い手育成課

○趣旨

これまで、地域の中心的経営体とその経営体の農地利用について定める任意計画「人・農地プラン」の取り組みが進められていたが、農業者の減少の加速化が見込まれる中、農業の成長産業化に向け、農地の集約化等を進めるとともに、人材の確保・育成を図るため、「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化された。

○事業内容

地域における話し合いをもとに、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を市町村が令和7年3月末までに策定・公告する。

○これまでの実績

- ・ 府内25市町村、158地区で「地域計画」を策定予定
- ・ 地域計画策定・実現推進チームを設立し、法改正の内容や地域における話し合いの進め方等を共有する会議等を開催
- ・ 地域計画策定に向けたマニュアルやQ & A集の作成等により、関係団体と協力して、市町村や農業委員会の取り組みを支援。
- ・ これらに係る事務経費について、国庫事業を活用し市町村への支援を実施

▶ R6予算額（参考）地域農業経営基盤強化促進計画推進事業費（R6：24,000千円）

担い手の確保・育成の取組について

農林水産部

経営支援・担い手育成課

○趣旨、事業内容

- ・ 今後の農林水産業の成長産業化を牽引する高度な専門人材と地域を支える多様な担い手を確保するための戦略策定、農林水産業の魅力を伝えるインターンシップの実施及び新たな担い手への実務指導や試験的な人材活用を支援する。

○これまでの実績

- ・ 昨年度、漁業を志す方を対象としたインターンシップを初めて開催
応募者数21名 参加者数7名（高校生中心）
- ・ 今年度は新たに林業、畜産においても、地域の魅力体験等を含んだ複合的なインターンシップを実施
※農業（畜産除く）のインターンシップは平成28年度から実施
（昨年度：プレインターンシップ7名、就農インターンシップ12名）

▶R6予算額（参考）

農林水産分野人材確保総合対策事業費（41,400千円）

地域の絆と交流を通じた 活力ある地域づくりに関する交通施策

建設交通部
交通政策課

○趣旨、事業内容

- ▶ 人口減少等により公共交通の利用者は減少傾向にあり、交通事業者の経営環境の悪化や運転士不足による減便や路線の廃止の拡大が懸念されております。
- ▶ 地域公共交通の維持・確保に向けて、地元住民・観光関係者などと連携した利用促進の取組を支援、推進しているところです。

○これまでの実績

- ▶ JR西日本や京都丹後鉄道と連携して、公共交通を活用した地域の観光地をめぐるデジタルスタンプラリー等の実施（海の京都、森の京都、お茶の京都エリアで開催）【R5】
- ▶ 地元高校生との連携による新しい切符回収箱の製作【R5】
- ▶ 沿線地域の企業と連携した企画列車の運行【R5】
（クラフトビール列車やKTR8500形お披露目イベント等）
- ▶ サイクルトレインの定期運行【R4～】



▶ R6予算額（参考）地域公共交通利用・観光誘客促進事業費（66,000千円）

地域の絆と交流を通じた 活力ある地域づくりに関する施策

京都府警察本部
交通部交通規制課

○趣旨、事業内容

- ・ 子供・高齢者等を交通事故から守る対策の推進
関係機関等と連携した交通安全総点検の実施等による交通事故防止対策の推進
- ・ 安全で快適な交通社会の実現
普通自転車歩道通行可の解除、自転車横断帯の解除等による各種交通規制の見直しの推進

○これまでの実績

- ・ 学校関係者、道路管理者等で構成する「通学路交通安全プログラム」に参画するなど、児童が安全で安心して通学できる交通安全対策を実施
- ・ 令和6年春、交通規制課に、交通安全施設の効果的かつ効率的な整備等を推進するための新たな係を創設

(案)

令和6年 月 日

京都府議会議長 石 田 宗 久 殿

魅力ある地域づくりに関する特別委員長 瀧 脇 正 明

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

大学の知と学生の力を取り入れた地域活性化、観光やスポーツを通じた様々な交流機会の拡大など、地域のポテンシャルの向上を目指した魅力ある地域づくりに関する施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため